

令和4年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財)札幌市芸術文化財団	所管課	市)文化振興課		
		記入者	担当	河野	電話 011-211-2261
基本財産	81,212千円	本市出資額	40,606千円 (出資割合 50.0%)		
設立年月日	昭和61年(1986年)4月1日	出資年月日	昭和61年(1986年)4月1日		
設立・出資目的	札幌から新しい芸術文化の創造を目指し、芸術文化に関し、広く一般に、参加と鑑賞の機会を提供するとともに、優れた創作活動の奨励を図り、もって市民の豊かな情操の涵養と我が国の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。	沿革	昭和61年	(財)札幌芸術の森設立	
			平成11年	(財)札幌市教育文化財団と統合し、	
			平成19年	(財)札幌市芸術文化財団へ名称変更	
			平成25年	(財)札幌彫刻美術館と統合 公益財団法人へ移行	
代表者	理事長(非常勤) 秋元 克広(市長)				
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ② 札幌市芸術文化財団 (43.0%) ③ 北海道新聞社 (0.6%) ④ 毎日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑤ 朝日新聞社北海道支社 (0.6%) ⑥ 読売新聞社北海道支社 (0.6%)				
団体所在地	〒005-0864 札幌市南区芸術の森2丁目75番地			電話	011-521-5114

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 札幌芸術の森及び本郷新記念札幌彫刻美術館の管理・運営事業 (6ページ)	② 札幌コンサートホールの管理・運営事業 (7ページ)
<p>【芸術の森】文化芸術都市さっぽろのシンボルとして施設の管理運営を行うとともに、多数の展覧会や観賞会、サッポロ・シティ・ジャズ等の事業を主催し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい文化芸術の場を創出する。</p> <p>【彫刻美術館】施設の管理運営を行うとともに、多くの展覧会を開催し、彫刻を中心とした美術の振興を図る。</p>	<p>国内有数の音響を誇る音楽専用ホールとして、施設の管理運営を行うとともに、著名演奏家の招聘や親しみある演奏会の開催など、数多くのコンサートを主催し、音楽文化環境の創造や音楽文化の普及振興を図る。</p>
③ 札幌市教育文化会館の管理・運営事業 (8ページ)	④ 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業 (9ページ)
<p>音楽、舞踊、演劇、美術等の舞台芸術の制作及び発表の場として、施設の管理運営及び多彩な事業を展開し、本市の舞台芸術の振興を図る。</p>	<p>各種展覧会の拠点会場として、市民の使用に供するために施設の管理運営を行い、本市の文化芸術の振興を図る。</p>
⑤ 札幌市民交流プラザの管理・運営事業 (10.ページ)	⑥
<p>舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与する。</p>	
(2) 総支出に占める事業支出割合	94.7% (主要事業支出合計 3,348,231千円 ÷ 総支出 3,534,087千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	当団体は、文化芸術施設の管理運営と多彩な主催事業の実施により、市民が優れた文化芸術に親しむ機会や環境を数多く提供しており、設立目的に対する事業効果は高い。今後も、団体の持つ専門性を活かして他団体や施設と連携を図ることで、一層の事業効果を生み出していくことが求められる。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	幅広い分野において多彩な文化芸術事業を展開するとともに円滑な施設運営が行われている。これらは、文化芸術に対する市民の関心や理解を深めることに寄与するものであり、当団体の設立目的に合致した事業展開がなされていると評価できる。

3 団体職員・構成員等

令和4年4月1日現在(単位：人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成			
役員					13	10歳代	0	40歳代	19
常勤理事	2	0	0	0		20歳代	23	50歳代	16
常勤監事	0	0	0	0		30歳代	47	60歳代	0
非常勤理事			9			平均年齢 37.6 歳			
非常勤監事			2						
職員					225				
常勤管理職	3	5	12	2					
常勤一般職	1	0	93	82					
非常勤職員			27						

役員任期	
理事	2 年
監事	4 年
代表権のある役員 の就任年月	
理事長	R3. 6
副理事長	R2. 6
職員総数の推移(人)	
R02. 4. 1時点	235
R03. 4. 1時点	218

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			R2年度決算	R3年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	3,304,325	3,854,389	(100.0%)	(+550,064)
			経常費用(b)	3,315,760	3,534,087		(+218,327)
			うち管理費等(c)	13,886	13,554	(0.4%)	(▲332)
			うち人件費(d)	1,069,065	1,064,185	(27.6%)	(▲4,880)
			当期経常増減額(e)	▲11,435	320,302		(+331,737)
			当期正味財産増減額(f)	108,395	307,889		(+199,494)
	貸借対照表	資産(g)	流動資産(h)	1,077,749	1,157,185		(+79,436)
			固定資産(i)	1,173,089	1,455,944		(+282,855)
			うち基本財産(j)	81,212	81,212		(0)
			負債(k)	706,131	760,533		(+54,402)
		流動負債(l)	流動負債(l)	547,092	598,718		(+51,626)
			固定負債(m)	159,039	161,815		(+2,776)
		正味財産(n)	1,544,707	1,852,596		(+307,889)	
		借入金残高(o)	0	0		(0)	

R3年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	経常収益(a)は、前年比で550,064千円余の増加となっている。これは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う札幌市からの休館・キャンセル返金補填費用について、今年度より指定管理費の見直しとして受けたことによる受取指定管理費の増加が要因である。(前年度は経常外収益) また、利用料金についても前年比で233,562千円余の増加となっている。
b	経常費用(b)は、燃料高騰に伴う光熱水費の増加や、令和2年度より行っておりましたコンサートホールの大規模改修が明けたことによる施設維持に係る委託費が増加したこと等により、前年比で218,327千円の増加となっている。
n	正味財産(n)は、前年比で307,889千円余の増加となっている。当該増加額(剰余金)のうち271,400千円を特定費用準備資金として積立資金(固定資産)に充当したため、資産が増加したことが主な要因である。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R2年度決算	R3年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	50,009	51,393	(+1,384)
市委託料	2,810,978	3,007,369	(+196,391)
市業務委託料	60	693	(+633)
うち随意契約	60	693	(+633)
市指定管理費	2,810,918	3,006,676	(+195,758)
うち非公募	2,733,179	2,920,917	(+187,738)
(参考)再委託額	1,013,645	1,144,523	(+130,878)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(36.1%)	(38.1%)	(+2.0%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考)市施設利用料金収入	231,001	464,563	(+233,562)
うち非公募	223,558	447,495	(+223,937)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	1,463,495	1,771,384	(+307,889)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	68.6%	70.9%	(+2.3%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	197.0%	193.3%	(▲3.7%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	75.9%	78.6%	(+2.6%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	14,061千円	17,681千円	(+3,620千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	32.4%	27.6%	(▲4.7%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	59千円	62千円	(+3千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	0.4%	0.4%	(▲0.1%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	91.0%	88.7%	(▲2.3%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	93.6%	91.4%	(▲2.2%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 概ね健全	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
理由	<p>健全性については、自己資本比率、流動比率、固定比率及び借入金依存度はいずれも良好な値を維持しており、健全性は高い。</p> <p>生産性においては、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、前年に比べ利用料金収入等が回復しており、職員一人当たり経常収益は前年より増加した。人件費率(経常収益比)は前年より減となっており、職員一人当たり管理費及び管理費率(経常収益比)は前年と同等の数字となっている。</p> <p>また、自立性については、市文化芸術施設の管理運営等を主要事業としており、依存度、財政的関与割合と本市への財政的依存度が高い。このことから、本市以外の助成金や協賛金の獲得など、自立性の向上を図る必要がある。</p>					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名	(R2年度)					
○出資比率の見直し検討							
①	市出資金	目標		40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	
		実績	40,606千円 (出資比率50%)	40,606千円 (出資比率50%)	-	-	
		評価		達成	達成	達成	
②	市出資比率の見直し検討	目標		検討	検討	検討	
		実績	現状維持	現状維持	-	-	
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)							
-							

(2) 人的関与

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○理事・評議員の就任、市派遣職員の継続						
①	市派遣職員数	目標		6	5	5
		実績	7	6	-	-
		評価		達成		
②	市職員の理事就任数	目標		2	2	2
		実績	2	2	-	-
		評価		達成		
③	市職員の評議員就任数	目標		1	1	1
		実績	1	1	-	-
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
-						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○「札幌市文化芸術基本計画」の実現に向けた文化芸術施設の有効活用						
①	文化芸術施設（6施設）の満足度	目標		90%	90%	90%
		実績	95.2%	94.8%	-	-
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
-						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○事業編成の見直しによる収支均衡の保持						
①	当期経常収支	目標		0千円	0千円	0千円
		実績	▲11,435千円	320,301千円	-	-
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
-						

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○内部管理体制の強化						
①	勤怠システムの導入	目標		調整	導入	導入済
		実績	試験導入	100%	-	-
		評価		達成		
②	コンプライアンス関連研修の受講率	目標		100%	100%	100%
		実績	100%	100%	-	-
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
-						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○障がいのある方の自立支援						
①	障害者就労支援施設からの物品調達や業務委託件数	目標		18件	20件	22件
		実績	11件	11件	-	-
		評価		未達成		
②	障がいのある方の雇用人数	目標		4 (法定4)	4 (法定4)	4 (法定4)
		実績	4 (法定4)	4	-	-
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応 (直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
コロナ禍のため主催事業の中止が相次ぎ、公演チラシ封入の委託件数が減少したため。今後はチラシ封入業務以外の委託可能な業務を検討し、障害者就労施設への委託件数の増加を目指す。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	https://www.sapporo-caf.org/
Eメールアドレス	secretariat@sapporo-caf.org
<p>【経営状況等】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿 <input type="checkbox"/> 団体機構図 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画 </p> <p>【事業情報等】</p> <p> <input type="checkbox"/> 実施事業 (イベント) 情報 <input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報 <input type="checkbox"/> その他 () </p>	
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行： 広報誌 <ol style="list-style-type: none"> 芸術の森 施設総合案内パンフレット ニュースリリース「今週の芸森。」 子供向け夏・冬休みイベント情報誌「もりくる」 コンサートホール KitaraNEWS、年間主催公演スケジュール 教育文化会館 情報誌「楽」、告知ペーパー「act」 市民ギャラリー 札幌市民ギャラリー 展覧会のご案内 市民交流プラザ WAVE TIMES、PLAS (イベントスケジュール) 「創成おさんぽMAP」 「ホテルインフォメーション」 (会員特典情報掲載) 	

※特記ない限り、本評価シート情報は令和4年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 札幌芸術の森管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化振興課	担当： 河野	電話： 211-2261
(1)事業内容	<p>【札幌芸術の森】</p> <p>① 施設の管理運営</p> <p>② 主催事業</p> <p>(1) 音楽・舞台芸術事業 (2) 芸術の森美術館事業</p> <p>(3) 工芸・工房事業 (4) 利用促進他</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</p> <p>① 施設の管理運営</p> <p>② 主催事業</p> <p>(1) 展覧会事業 (2) 本郷新記念札幌彫刻賞</p> <p>(3) 貸館事業 (4) 普及事業</p> <p>(5) 協力事業 (6) 利用促進</p>		
(2)事業目的	<p>【札幌芸術の森】</p> <p>芸術文化都市さっぽろのシンボルとして、個性ある新しい札幌文化を育てることを目指し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい芸術文化の場を創出し、札幌が誇りとする豊かな大自然と、都市、芸術、文化が調和した環境の形成を目的とする。</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】</p> <p>本市ゆかりの彫刻家である本郷新の業績を顕彰するとともに、本市における彫刻を中心とした美術の振興を図ることで、本市の文化芸術の振興に寄与することを目的とする。</p>		
(3)事業開始	<p>【札幌芸術の森】 昭和61年(1986年)7月27日</p> <p>【本郷新記念札幌彫刻美術館】 昭和56年(1981年)6月29日</p>		

市指定管理費(非公募) 690,298
市補助金 11,125
市負担金 243

2. 実施結果

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位:千円)	収入(経常収益比)	864,028 (26.1 %)	801,049 (20.8 %)	(▲ 62,979)	
	市補助金・交付金・負担金	18,822	11,368	(▲ 7,454)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	699,754	690,298	(▲ 9,456)	
	市施設利用料金収入	41,585	29,834	(▲ 11,751)	
	自主事業収入(補助金除く)	34,135	46,415	(+12,280)	
	その他収入	69,732	23,134	(▲ 46,598)	
	費用(支出)	860,329	861,211	(+882)	
	事業費	801,731	832,109	(+30,378)	
	管理費等	58,598	29,102	(▲ 29,496)	
収支差	3,699	▲ 60,162	(▲ 63,861)		
収支比率	100.43%	93.01%	(▲ 7.42%)		
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	38事業	34事業	30事業	37事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	82事業	63事業	58事業	61事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	16事業	14事業	14事業	19事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	22事業	24事業	21事業	29事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	39事業	34事業	27事業	33事業
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	芸術の森 総入園者数(人)	434,520	500,000	271,719	500,000
②	芸術の森 利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	94	95	93	95
③	彫刻美術館 入館者数(人)	17,954	15,000	11,846	14,000
④	彫刻美術館 利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	98	95	99	95
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	<p>事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない</p> <p>芸術の森及び彫刻美術館ともに、総入場者数が前年度実績を下回った。原因として、新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術の森では最大の集客を見込んでいたドラえもん展の会期短縮のほか、野外ステージ等でのイベント中止、彫刻美術館においても展覧会の会期の短縮を行ったことによる影響が大きいと考えられ、営業努力の及ばない外部要因が両施設の総入園者数の減少に繋がったと判断される。主催事業について、芸術の森では認知度の高いドラえもんをテーマにした展覧会の開催、音楽・舞台芸術部門ではジャズ音楽を通じた若い世代の交流・発表の場を提供し、彫刻美術館では収蔵作品を活用した多彩な事業の実施により、両施設とも幅広い年齢層に文化芸術に触れる機会を提供しており、高く評価できる。今後も、市民が文化芸術に親しむ機会を提供することに期待する。</p>
(2)収支状況	<p>当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による講習会受講料や大規模イベントの中止による減収を受け、赤字決算となっている。施設利用率は回復傾向にあるものの、施設利用率の一層の向上や主催事業における収支改善に向けた取り組みを進め、安定的な施設運営に努める必要がある。</p>

事業評価 (2) 札幌コンサートホールの管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 河野	電話： 211-2261
(1)事業内容	① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 音楽鑑賞事業 (2) 音楽普及事業 (3) 教育・人材育成事業 (4) 全国ホール等とのネットワーク事業 (5) その他事業（名義共催公演） (6) PR活動の充実 (7) チケット等販売事業 (8) Kitaraボランティアとの連携		市指定管理費(非公募) 688,817 市補助金 22,311 市委託料(随意契約) 693
(2)事業目的	音楽の鑑賞その他音楽に関する活動の場を提供すること及び音楽に関する事業を行うことにより、音楽芸術の振興及び音楽を通じた人材育成・国際交流の推進を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	平成9年(1997年)7月1日		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		732,434 (22.2%)	899,196 (23.3%)	(+166,762)
事業 支出 (単位 千円)	市補助金・交付金・負担金	23,324	22,311	(▲ 1,013)	
	市業務委託料	60	693	(+633)	
	市指定管理費	653,397	688,817	(+35,420)	
	市施設利用料金収入	33,450	117,458	(+84,008)	
	自主事業収入(補助金除く)	963	5,890	(+4,927)	
	その他収入	21,240	64,027	(+42,787)	
	費用(支出)	665,421	816,063	(+150,642)	
	事業費	588,208	745,398	(+157,190)	
	管理費等	77,213	70,665	(▲ 6,548)	
	収支差	67,013	83,133	(+16,120)	
	収支比率	110.07%	110.19%	(+0.12%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	3事業	9事業	7事業	14事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	28事業	50事業	46事業	77事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	2事業	9事業	7事業	13事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	7事業	19事業	17事業	24事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	8事業	24事業	22事業	29事業
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	利用率(大ホール) (%)	45	85	79	87
②	総利用人数(人)	28,861	296,000	135,470	380,000
③	利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	97	96	95	96
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 総利用人数の計画比減については、新型コロナウイルス感染症や改修工事による休館の影響によるものが大きいものの、長期的にも入場者数の減少傾向がみられることから、今後は、クラシック音楽等に触れる機会が少ない市民にも親しみやすい事業等を実施することにより、若年層や新規鑑賞者の獲得に努めていただきたい。 各主催事業では、多彩な演奏会を展開したほか、子ども向けのアプローチや地元音楽家への活動支援など、音楽文化の普及・人材育成にも引き続き取り組むなど、札幌市の施策に沿った事業が展開されている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の公演が中止となったものの、感染対策を徹底しながら、可能な限り公演を実施できるよう努めたことは高く評価できる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 前年度に引き続き、純利益は黒字となっているが、新型コロナウイルスの影響により一部の主催公演の中止・縮小や公演数減少に伴う委託業務の縮小によるものが大きいため、従前のような事業展開を行える状況下においても、効率的な経営により良好な収支が維持できるよう努められたい。

事業評価 (3) 札幌市教育文化会館の管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 河野	電話： 211-2261
(1)事業内容	① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 芸術文化を創造し、発信する事業 (2) 芸術文化の普及振興、育成・支援を行う事業 (3) 札幌市民芸術祭 (4) 広報活動		市指定管理費(非公募) 352,260 市補助金 2,000
(2)事業目的	文化芸術及び教育活動の中心的な施設として、音楽、舞踊、演劇、美術等の制作及び発表の場に供し、それらの事業を行うことで、本市の舞台芸術の振興を図ることを目的とする。		
(3)事業開始	昭和52年(1977年) 7月15日		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		359,379 (10.9%)	462,167 (12.0%)	(+102,788)
市補助金・交付金・負担金	市補助金・交付金・負担金	1,178	2,000	(+822)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	291,461	352,260	(+60,799)	
	市施設利用料金収入	56,613	99,860	(+43,247)	
	自主事業収入(補助金除く)	3,032	3,566	(+534)	
	その他収入	7,095	4,481	(▲ 2,614)	
	費用(支出)	408,181	415,309	(+7,128)	
事業費	事業費	388,461	384,026	(▲ 4,435)	
	管理費等	19,720	31,283	(+11,563)	
収支差		▲ 48,802	46,858	(+95,660)	
収支比率		88.04%	111.28%	(+23.24%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	12事業	17事業	9事業	17事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	17事業	36事業	28事業	36事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	12事業	25事業	15事業	25事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	16事業	22事業	16事業	20事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	9事業	9事業	8事業	9事業
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	大ホール利用率 (%)	41	80	55	80
②	総利用者数 (人)	123,761	580,000	198,699	456,000
③	利用者アンケート結果 (%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	87	92	92	92
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	前年度に引き続き、コロナ禍の影響で多くの主催事業に影響が出たところだが、中止となったワークショップについてオンラインを活用した代替事業を実施するなど、文化芸術体験の場を継続的に提供していることは評価できる。利用者からの声については、仕様書の要求水準である80%を超えており、適切な運営がなされていると評価できるが、アンケート回答数が少ないことが課題として挙げられるため、今以上の幅広い意見の集約が必要である。施設の利用については、例年の水準には至っていないものの、前年度に比べ、ホール利用率、利用者数ともに回復傾向にあるため、今後も感染症対策を徹底し、利用者が安心して使用できる施設運営に努められたい。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	コロナ禍に起因する施設利用キャンセル料の補填による指定管理費の増加や、主催事業の縮小による支出減等のため収支がプラスとなっている。例年規模の事業を実施する場合においても収支を良好に保てるよう、引き続き施設の稼働率向上や収入確保に向けた取組が必要である。

事業評価 (4) 札幌市民ギャラリーの管理・運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 河野	電話： 211-2261
(1)事業内容	① 施設の管理運営 ② 主催事業 (1) 市民ギャラリー美術映画会 (2) カルチャーナイト2021～地下迷宮からの招待状【オンライン】 (3) 市民ギャラリーウインターコンサート (4) 市民ギャラリー子ども映画会 (5) 市民ギャラリー手づくり作品市場 (6) 市民ギャラリー開館40周年記念事業 カタチがテーマの絵画公募展「〇展」【オンライン併用】 など		市指定管理費(非公募) 85,759
(2)事業目的	展覧会、展示会のための会場として市民の使用に供すること及び各種事業を行うことで、本市の文化芸術の振興に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	昭和57年(1982年) 2月28日		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		86,641	103,729	(+17,088)
	()	(2.6%)	(2.7%)		
	市補助金・交付金・負担金	853	0	(▲ 853)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	77,739	85,759	(+8,020)	
	市施設利用料金収入	7,443	17,068	(+9,625)	
	自主事業収入 (補助金除く)	541	759	(+218)	
	その他収入	65	143	(+78)	
費用 (支出)		88,405	97,114	(+8,709)	
	事業費	85,419	97,114	(+11,695)	
	管理費等	2,986	0	(▲ 2,986)	
収支差		▲ 1,764	6,615	(+8,379)	
収支比率		98.00%	106.81%	(+8.81%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	3事業	5事業	3事業	2事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、視野を拡大する事業	6事業	9事業	8事業	9事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	3事業	5事業	4事業	3事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	1事業	4事業	3事業	3事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	1事業	1事業	2事業	2事業
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	展示室の利用率 (%)	37	85	73	85
②	入場者数 (人)	38,225	135,000	81,822	81,000
③	利用者アンケート結果 (%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	96	93	96	93
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	コロナ禍の影響によりいくつかの事業が中止となっているが、規模縮小等により可能な限り実施しており、オンラインによる動画公開を併せて実施するなど、継続的な鑑賞機会の提供を行っている。また、利用件数等については前年度よりも回復傾向ではあるものの、依然としてコロナ禍の影響を受けており、例年と比較して低調であるが、空き状況の共有等、積極的な営業を行い、利用件数増に努めている。今後も利用者が安心して利用できるよう感染症対策を徹底し、市民が文化芸術に親しむ機会の提供を継続することを期待する。さらに、新たな施設利用者の獲得につながる事業の実施により、利用客固定化の改善にも努められたい。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	コロナ禍の影響により利用料金収入が例年と比較して低調であるものの、前年度よりも大きく改善している。キャンセル料金の補填のための指定管理費の増により黒字となっているが、引き続き貸館利用の促進により利用料金収入を確保することで、安定した収支の継続に努められたい。

事業評価 (5) 札幌市民交流プラザの管理運営事業

1. 事業概要	事業所管課： 市民文化局文化部文化振興課	担当： 河野	電話： 211-2261
(1)事業内容	① 施設の管理運営 ② 主催事業 1 札幌文化芸術劇に関する事業 (1) 創造事業 (2) 鑑賞事業 (3) 普及・育成事業 (4) 交流事業 2 札幌文化芸術交流センターに関する事業 (1) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業 (2) 文化芸術活動支援事業 (3) 文化芸術に関する調査研究事業 3 広報・利用促進に関する事業 (1) 広報		市指定管理費(非公募) 1,189,542 市補助金 5,000 市負担金 10,714
(2)事業目的	舞台芸術、音楽、美術等の企画、制作及び実施等を通じて、文化芸術活動及び生涯学習の振興と人々の来訪及び交流の促進を図ることにより、市民の創造性を育むとともに、市民生活の質の向上と地域のにぎわいの創出に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	平成28年(2016年)4月1日		

2. 実施結果

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	
(1)事業収支(単位:千円)	収入(経常収益比)	1,387,920 (42.0%)	1,590,085 (41.3%)	(+202,165)	
	市補助金・交付金・負担金	5,832	15,714	(+9,882)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	1,088,567	1,189,542	(+100,975)	
	市施設利用料金収入	91,910	200,343	(+108,433)	
	自主事業収入(補助金除く)	20,254	8,420	(▲ 11,834)	
	その他収入	181,357	176,066	(▲ 5,291)	
	費用(支出)	1,327,687	1,351,285	(+23,598)	
	事業費	1,257,799	1,289,584	(+31,785)	
	管理費等	69,888	61,701	(▲ 8,187)	
収支差	60,233	238,800	(+178,567)		
収支比率	104.54%	117.67%	(+13.14%)		
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	芸術文化を核として、一般の方々の交流・参加する機会を提供する事業	15事業	3事業	6事業	5事業
②	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、裾野を拡大する事業	81事業	37事業	76事業	59事業
③	トレーニングや発表の場等の提供による人材育成事業	34事業	7事業	22事業	11事業
④	地元芸術家等の紹介及び活動を支援する振興事業	28事業	11事業	26事業	17事業
⑤	利用促進のためのサービス向上、営業、広報活動事業	17事業	15事業	11事業	11事業
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	札幌文化芸術劇場ホール利用率(%)	58	80	80	80
②	札幌文化芸術交流センター利用率(%)	65	75	63	75
③	来館者数(図書・情報館含む)	630,647	1,200,000	752,003	1,200,000
④	利用者アンケート結果(%) (施設、職員対応等が「普通」以上の割合)	96	80	95	80
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	R2年度に引き続き、主催事業の中止等がありながらも、事業数の活動指標について概ね達成しており、市民が文化芸術に触れる機会を提供し、地域のにぎわいを創出しているという点について評価できる。また、アンケート結果からも、利用者が高い満足度を感じていることが確認でき、市民生活の質の向上に寄与していることについて高く評価できる。 今後は、貸室予約方法の改善等、施設の利便性向上により一層努め、来館者数増加に向けて取り組まれない。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	コロナ禍による施設利用制限はあったものの、公演の収容人数制限の緩和等により公演実施件数が増え、貸室稼働率が上昇したことにより、施設利用料金収入が増加した。目標を達成している劇場の利用率については今後も高水準を維持するとともに、目標未達であるセンターの利用率向上による事業収入増に努めていただきたい。

貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	969,637,152	915,659,118	53,978,034
未収金	104,310,782	74,388,340	29,922,442
未収収益	1,822,033	1,828,235	△6,202
前払金	5,834,202	7,326,914	△1,492,712
仮払金	16,500	16,500	-
立替金	232,934	541,004	△308,070
商品	15,371,825	14,891,347	480,478
仕掛品	850,500	-	850,500
貯蔵品	59,109,062	63,097,480	△3,988,418
流動資産合計	1,157,184,990	1,077,748,938	79,436,052
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金	1,426,875	1,426,875	-
投資有価証券	79,784,800	79,784,800	-
基本財産合計	81,211,675	81,211,675	-
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	161,815,398	159,039,464	2,775,934
基金引当資産	885,110,518	890,946,518	△5,836,000
周年事業準備資金	64,700,000	-	64,700,000
記念事業準備資金	37,700,000	-	37,700,000
既存事業拡大準備資金	169,000,000	-	169,000,000
器具備品	343,893	458,524	△114,631
特定資産合計	1,318,669,809	1,050,444,506	268,225,303
(3) その他固定資産			
建物	2,984,412	508,456	2,475,956
構築物	12,273,006	-	12,273,006
車両運搬具	486,356	1,165,053	△678,697
器具備品	33,988,469	28,917,819	5,070,650
美術品	1,920,000	1,920,000	-
ソフトウェア	4,154,248	8,665,433	△4,511,185
敷金	256,500	256,500	-
その他固定資産合計	56,062,991	41,433,261	14,629,730
固定資産合計	1,455,944,475	1,173,089,442	282,855,033
資産合計	2,613,129,465	2,250,838,380	362,291,085
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	267,674,406	223,850,333	43,824,073
未払費用	47,334,142	36,602,336	10,731,806
未払法人税等	6,461,600	1,654,600	4,807,000
未払消費税等	28,803,600	49,825,700	△21,022,100
前受金	236,097,493	229,611,775	6,485,718
預り金	12,346,505	5,547,372	6,799,133
仮受金	270	200	70
流動負債合計	598,718,016	547,092,316	51,625,700
2. 固定負債			
退職給付引当金	161,815,398	159,039,464	2,775,934
固定負債合計	161,815,398	159,039,464	2,775,934
負債合計	760,533,414	706,131,780	54,401,634
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金等	823,516,139	829,352,139	△5,836,000
寄付金	89,404,972	89,519,603	△114,631
指定正味財産合計	912,921,111	918,871,742	△5,950,631
(うち基本財産への充当額)	(81,211,675)	(81,211,675)	-
(うち特定資産への充当額)	(831,709,436)	(837,660,067)	△5,950,631
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(325,144,975)	(53,744,975)	271,400,000
正味財産合計	1,852,596,051	1,544,706,600	307,889,451
負債及び正味財産合計	2,613,129,465	2,250,838,380	362,291,085

正味財産増減計算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	240,658	238,685	1,973
基本財産受取利息	240,658	238,685	1,973
② 特定資産運用益	7,796,552	7,785,902	10,650
特定資産受取利息	7,796,552	7,785,902	10,650
③ 事業収益	3,698,724,033	3,132,104,501	566,619,532
受取指定管理費	3,006,676,451	2,684,233,648	322,442,803
利用料金収益	464,562,991	231,001,084	233,561,907
受講料収益	4,733,820	2,152,377	2,581,443
入場料収益	92,362,526	56,340,351	36,022,175
商品売上金収益	10,241,125	5,186,148	5,054,977
出品料収益	92,465	1,243,900	△1,151,435
受託販売手数料収益	7,357,900	9,687,488	△2,329,588
広告料収益	102,155,000	113,425,000	△11,270,000
見学料収益	24,000	-	24,000
受託業務収益	1,320,000	-	1,320,000
管理許可等収益	9,197,755	12,043,852	△2,846,097
共催事業決算金収益	-	16,790,653	△16,790,653
④ 受取補助金等	121,530,810	109,040,521	12,490,289
受取地方公共団体補助金	40,436,608	20,559,360	19,877,248
受取民間補助金	-	2,062,555	△2,062,555
受取民間助成金	21,892,000	11,945,000	9,947,000
受取国庫助成金	59,202,202	74,473,606	△15,271,404
⑤ 受取負担金	18,314,972	45,330,755	△27,015,783
受取負担金	18,314,972	45,330,755	△27,015,783
⑥ 受取寄付金	264,631	531,843	△267,212
受取寄付金	150,000	379,000	△229,000
特定資産受贈益振替額	114,631	152,843	△38,212
⑦ 雑収益	7,516,941	9,292,364	△1,775,423
雑収益	7,516,941	9,292,364	△1,775,423
経常収益計	3,854,388,597	3,304,324,571	550,064,026
(2) 経常費用			
① 事業費	3,520,532,884	3,301,874,383	218,658,501
役員報酬	13,095,000	12,485,966	609,034
給料手当	605,081,798	594,579,903	10,501,895
賃金	263,935,294	279,992,639	△16,057,345
退職給付費用	19,818,631	18,225,691	1,592,940
福利厚生費	153,689,540	154,379,402	△689,862
旅費交通費	16,122,538	11,140,245	4,982,293
通信運搬費	19,391,854	18,946,379	445,475
減価償却費	20,801,171	27,400,614	△6,599,443
消耗什器備品費	4,737,287	6,867,757	△2,130,470
商品売上原価	6,471,190	7,568,411	△1,097,221
消耗品費	83,716,868	81,845,368	1,871,500
図書費	750,796	228,742	522,054
修繕費	46,271,392	34,667,644	11,603,748
印刷製本費	75,532,451	57,784,985	17,747,466
燃料費	31,018,794	21,788,243	9,230,551
光熱水費	422,494,984	361,967,717	60,527,267
賃借料	29,850,797	31,406,497	△1,555,700
保険料	3,091,258	3,447,278	△356,020
諸謝金	139,160,484	162,673,290	△23,512,806
報償費	8,419,094	9,834,690	△1,415,596
交際費	5,500	11,340	△5,840
食糧費	1,338,550	934,212	404,338
広告料	37,630,334	20,677,746	16,952,588
手数料	18,579,624	16,785,443	1,794,181
租税公課	125,079,070	115,512,090	9,566,980
支払負担金	35,510,445	51,334,917	△15,824,472
支払寄付金	24,752,595	18,462,503	6,290,092
委託費	1,301,838,706	1,167,457,208	134,381,498
管理許可等費用	9,931,474	11,566,415	△1,634,941
雑費	2,178,046	970,600	1,207,446
雑損失	237,319	930,448	△693,129

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費	13,554,028	13,885,729	△331,701
役員報酬	855,000	1,387,329	△532,329
給料手当	5,803,054	5,856,343	△53,289
賃金	470,372	546,555	△76,183
退職給付費用	196,393	213,719	△17,326
福利厚生費	1,239,699	1,397,016	△157,317
旅費交通費	82,908	64,584	18,324
通信運搬費	220,810	223,229	△2,419
減価償却費	102,388	66,671	35,717
消耗什器備品費	-	253,984	△253,984
消耗品費	210,987	174,202	36,785
図書費	-	473	△473
修繕費	396,432	30,085	366,347
印刷製本費	111,605	82,597	29,008
賃借料	558,471	528,354	30,117
保険料	27,360	29,000	△1,640
報償費	4,235	900	3,335
交際費	-	1,260	△1,260
食糧費	1,703	90	1,613
広告料	74,150	16,300	57,850
手数料	294,674	378,600	△83,926
租税公課	4,530	3,380	1,150
支払負担金	121,450	144,556	△23,106
委託費	2,732,807	2,381,502	351,305
雑費	45,000	105,000	△60,000
経常費用計	3,534,086,912	3,315,760,112	218,326,800
当期経常増減額	320,301,685	△11,435,541	331,737,226
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取補償金	-	126,683,906	△126,683,906
受取補償金	-	126,683,906	△126,683,906
経常外収益計	-	126,683,906	△126,683,906
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	3	190,391	△190,388
器具備品除却損	3	190,391	△190,388
経常外費用計	3	190,391	△190,388
当期経常外増減額	△3	126,493,515	△126,493,518
税引前当期一般正味財産増減額	320,301,682	115,057,974	205,243,708
法人税、住民税及び事業税	6,461,600	1,654,600	4,807,000
当期一般正味財産増減額	313,840,082	113,403,374	200,436,708
一般正味財産期首残高	625,834,858	512,431,484	113,403,374
一般正味財産期末残高	939,674,940	625,834,858	313,840,082
II 指定正味財産増減の部			
(1) 基本財産運用益	240,658	238,685	1,973
基本財産受取利息	240,658	238,685	1,973
(2) 特定資産運用益	7,980,252	7,969,402	10,850
特定資産受取利息	7,980,252	7,969,402	10,850
(3) 特定資産評価損	6,019,700	5,039,500	980,200
特定資産評価損	6,019,700	5,039,500	980,200
(4) 特定資産償還損	-	-	-
特定資産償還損	-	-	-
(5) 一般正味財産への振替額	△8,151,841	△8,177,430	25,589
一般正味財産への振替額	△8,151,841	△8,177,430	25,589
当期指定正味財産増減額	△5,950,631	△5,008,843	△941,788
指定正味財産期首残高	918,871,742	923,880,585	△5,008,843
指定正味財産期末残高	912,921,111	918,871,742	△5,950,631
III 正味財産期末残高	1,852,596,051	1,544,706,600	307,889,451